

第78回国民スポーツ大会近畿ブロック大会バレーボール競技 審判上の注意

大会審判委員長

1. 本大会は2024年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則、及び競技要項による。
2. 試合は、全試合3セットマッチとし、ワンボールシステムで行う。
3. 試合中のコートワイピングは、コート上の競技者自らが速やかに行うこと(スモールタオルはチームで準備すること)。また、タイムアウト中及びセット間は、チームメンバーがモップを使用して行うこと。
4. 全試合クイック・サブスティチューション制を採用する。ブザー、ナンバーパドルは使用しない。
5. リベロについては、本年度競技規則19の規定に準ずることとする。本大会では、成年男子・女子において、チームの選手登録が14名までとなっているので、12名以下の場合は0~2名、13名以上は2名とする。少年男子・女子においては、チームの選手登録が12名までとなっているので、リベロの登録は0~2名となる。
6. タイムアウトについて
タイムアウトに入ったら、コートから離れなくてはならない。ただし、その位置については制限されない。なお、30秒間または60秒を待たずコートに戻ってもよい。ただし、タイムアウトの時間が短くなることはない。
7. サービス許可時の反則の取り扱いについて(下記のケースは反則としない)
コート上に5人だけ、または7人の選手がいるときには6人になるよう、またポジション4にリベロが上がった場合は正規の選手にリプレースメントするよう、サービス許可のホイッスルの前に促す。
もし、ファーストレフェリーがそのことに気づかずにサービスのホイッスルをした場合、およびラリーが始まったり完了した場合、ファーストレフェリーはそのことに気づいたら直ちに罰則なしにラリーをやり直さなければならない。
8. 中断に関する事項
正規の試合中断の要求(タイムアウト・選手交代)に関して、チームが遅延警告を受けた場合、同じチームによる試合中断の要求は、次のラリーが完了するまで認められない。(けがや病気による選手交代を除く)
9. ポジション
選手のポジションは、コート面に接している両足の位置(最後にコート面に接触していた部分)により決定され、コントロールされる。
 - ①各バックプレーヤーは、対応するフロントプレーヤーと同じ位置にいるか、少なくとも片方の足の一部が対応するフロントプレーヤーの前の足よりセンターラインから遠い位置にいないなければならない。
 - ②ライト(レフト)サイドの各選手は、同じ列の他の選手のライト(レフト)側から遠くにある足と同じ位置か、少なくとも片方の足の一部がライト(レフト)のサイドラインに近い位置にいないなければならない。
10. 全てのセットにおいてリードするチームが13点目に達したときに、30秒間の給水タイムアウトが自動的に適用される。

以上